

アストマックス株式会社 個人投資家説明会資料

(東証JASDAQ : 7162)

2019年8月

本日配布した資料に記載されております将来に関する記載につきましては、
本資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、
確約や保証を与えるものではなく、不確実性が含まれておりますので、予めご了承ください。

アストマックスグループのご紹介

1. アストマックスグループについて
2. 事業紹介
3. 2020年に向けての中期ビジョン
Innovation & Governance for 2020
株主還元・IR方針
4. 決算状況

■代表取締役社長 本多 弘明（ほんだ ひろあき）



昭和31年（1956年）	北海道小樽市生まれ
昭和54年（1979年）	神戸商科大学商経学部卒業
昭和54年（1979年）	住友商事株式会社
平成 9年（1997年）	ウエストドイッチェ・ランデスバンク
平成15年（2003年）	アストマックス・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長
平成22年（2010年）	アストマックス株式会社 代表取締役社長



創業：1992年9月14日

お蔭様で、
2018年9月14日に
創業26周年を迎えました。

2006年ジャスタック上場

1. アストマックスグループについて：

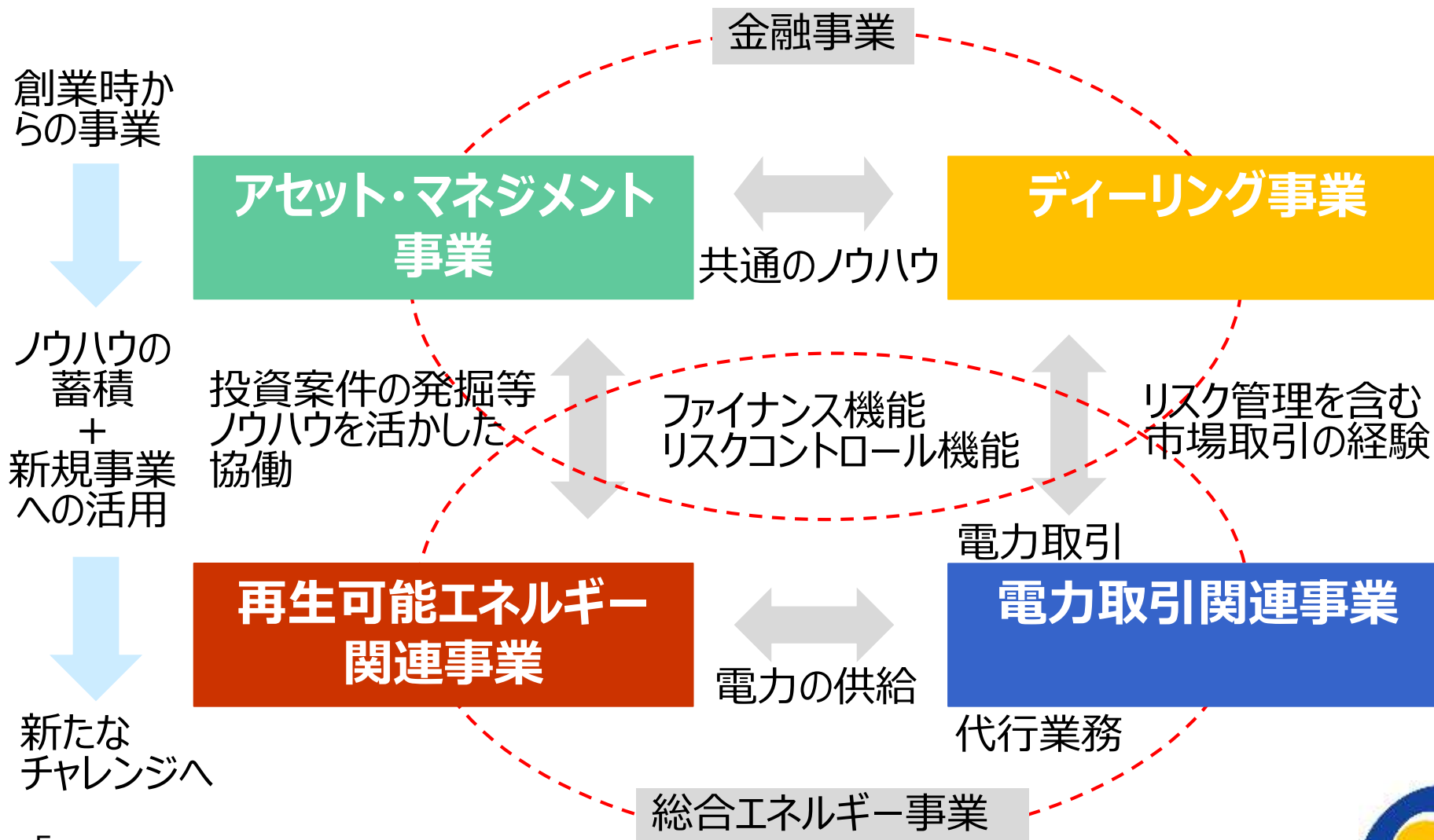
金融事業
×
総合エネルギー事業

私たちの未来を考える
Spirit of Challenge

Advanced Strategic Trading Management & Advisory

アストマックスは、
創業以来、培ってきたノウハウを活用し、
金融事業と総合エネルギー事業を通じて、
将来にわたり豊かで、安心して生活できる環境づくりに
貢献する企業グループでありたいと考えています。

■ 以下のコア4事業に従事



1.アストマックスグループについて：

事業相関図2

金融事業

アセット・ マネジメント事業

機関投資家・個人・年金に
対する金融商品取引業者
(投資運用業)

ディーリング事業

自己資産運用業

- ・金融商品等の運用スキル
- ・取引・リスク管理手法
- ・集団投資スキームノウハウ

創業時からのノウハウ の蓄積

総合エネルギー事業

再生可能エネルギー 関連事業

2012年～
太陽光・地熱発電事業
・開発運営、保守管理
・ポートフォリオの入替を
通じたビジネス拡張

- ・集団投資スキームノウハウ
の活用
- ・法務関連経験値の蓄積
- ・リスク管理手法をエネル
ギー開発で活用

蓄積されたノウハウの活用

電力取引関連 事業

2016年～
小売電気事業者向け
・システム提供
・業務代行サービス
・電力取引

- ・小売電気事業者支援
- ・ファイナンス機能提供
- ・電力卸売市場の担い手
- ・リスク管理手法を電力
取引で活用

アストマックスグループのご紹介

1. アストマックスグループについて
2. 事業紹介
3. 2020年に向けての中期ビジョン
Innovation & Governance for 2020
株主還元・IR方針
4. 決算状況

2. 事業紹介：

金融事業

アセット・ マネジメント事業

機関投資家・個人・年金に
対する金融商品取引業者
(投資運用業)

ディーリング事業

自己資産運用業

- ・金融商品等の運用スキル
- ・取引・リスク管理手法
- ・集団投資スキームノウハウ

創業時からのノウハウ
の蓄積

総合エネルギー事業

再生可能エネルギー 関連事業

2012年～
太陽光・地熱発電事業
・開発運営、保守管理
・ポートフォリオの入替を
通じたビジネス拡張

- ・集団投資スキームノウハウ
の活用
- ・法務関連経験値の蓄積
- ・リスク管理手法をエネル
ギー開発で活用

電力取引関連 事業

2016年～
小売電気事業者向け
・システム提供
・業務代行サービス
・電力取引

- ・小売電気事業者支援
- ・ファイナンス機能提供
- ・電力卸売市場の担い手
- ・リスク管理手法を電力
取引で活用

蓄積されたノウハウの活用

2-1. アセット・マネジメント事業

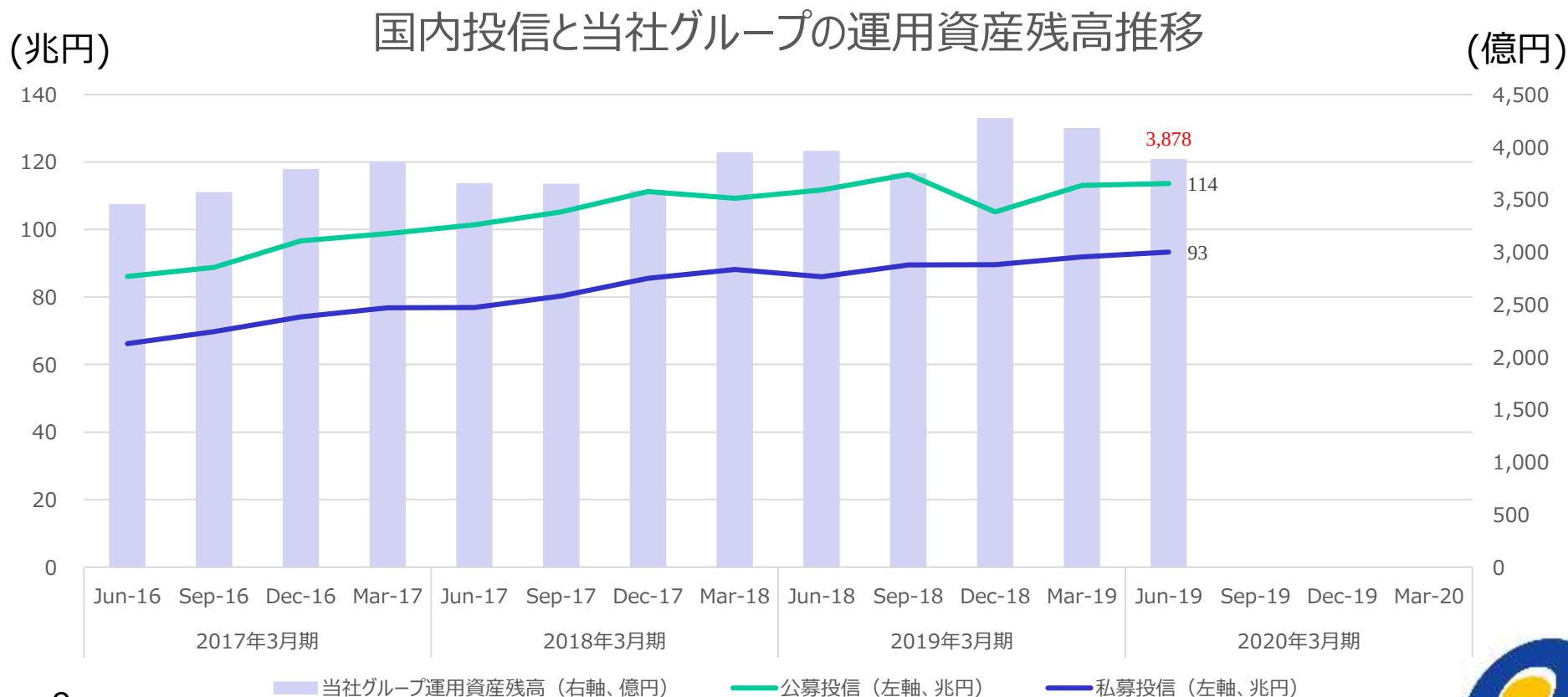
事業内容：金融商品取引業者（投資信託の組成、運用ほか）

➤ 運用資産残高の構造：私募投資信託＋公募投資信託の残高

私募投資信託の主な投資家：地方金融機関

公募投資信託の主な投資家：各金融機関を通じた個人（長期資産形成事業）

➤ 当事業の2019年6月末時点運用資産残高：3,878億円(前年度末比△295億円)



2016年8月：ヤフー(株)との間で資本・業務提携契約締結

2019年4月：ヤフー(株)に子会社の株式を追加譲渡（非連結化）

持株比率は、ヤフー50.1%・当社49.9%

代表取締役は引き続き、本多弘明が兼任

アストマックス投信投資顧問株式会社

Magne-Max Capital Management

おカネに働いてもらう楽しさをすべての人に

➤ 人材交流

ヤフー株式会社

ヤフーとの協働により公募投資信託設定

2016年12月：Yjamプラス！、2017年4月：Yjamライト！

学校法人東京理科大学が主に出資する
大学発ベンチャーキャピタルファンドに、当社グループ会社
アストマックス・ファンド・マネジメント株式会社が
GP（無限責任組合員）として運用受託して3年半経過

- 東京理科大学が有する技術・研究成果等を活用しながら
地域活性化につながる企業への出資及び大学運営に
資する出資等を実施し、出資先企業の価値向上等を通じて
広く社会に還元及び寄与することを目指す



P23 新たな事業への挑戦 ①地方創生事業と関連

2-2. 事業紹介：

金融事業

アセット・ マネジメント事業

機関投資家・個人・年金に
対する金融商品取引業者
(投資運用業)

ディーリング事業

自己資産運用業

- ・金融商品等の運用スキル
- ・取引・リスク管理手法
- ・集団投資スキームノウハウ

創業時からのノウハウ
の蓄積

総合エネルギー事業

再生可能エネルギー 関連事業

2012年～
太陽光・地熱発電事業
・開発運営、保守管理
・ポートフォリオの入替を
通じたビジネス拡張

- ・集団投資スキームノウハウ
の活用
- ・法務関連経験値の蓄積
- ・リスク管理手法をエネル
ギー開発で活用

電力取引関連 事業

2016年～
小売電気事業者向け
・システム提供
・業務代行サービス
・電力取引

- ・小売電気事業者支援
- ・ファイナンス機能提供
- ・電力卸売市場の担い手
- ・リスク管理手法を電力
取引で活用

蓄積されたノウハウの活用

2-2.ディーリング事業：

事業内容：

東京商品取引所、CME、ICE等、国内外の主要取引所にて
商品先物を中心に、株価指数等の金融先物を取引対象とした自己勘定取引を行う

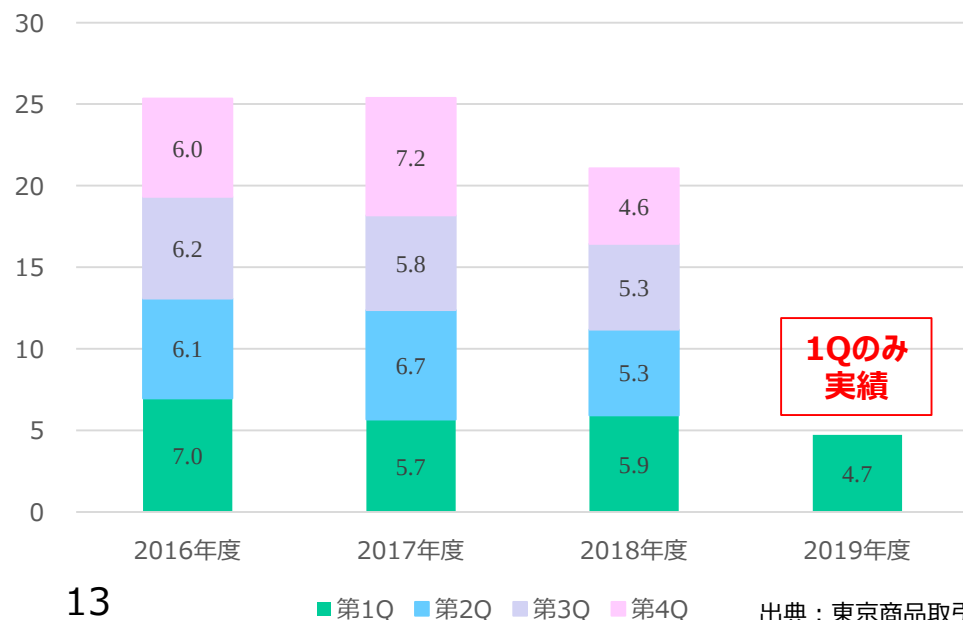
＜新規ビジネス機会＞

- 今秋、電力先物試験上場
- 本邦先物取引所の再編
- 中国市場の海外への開放

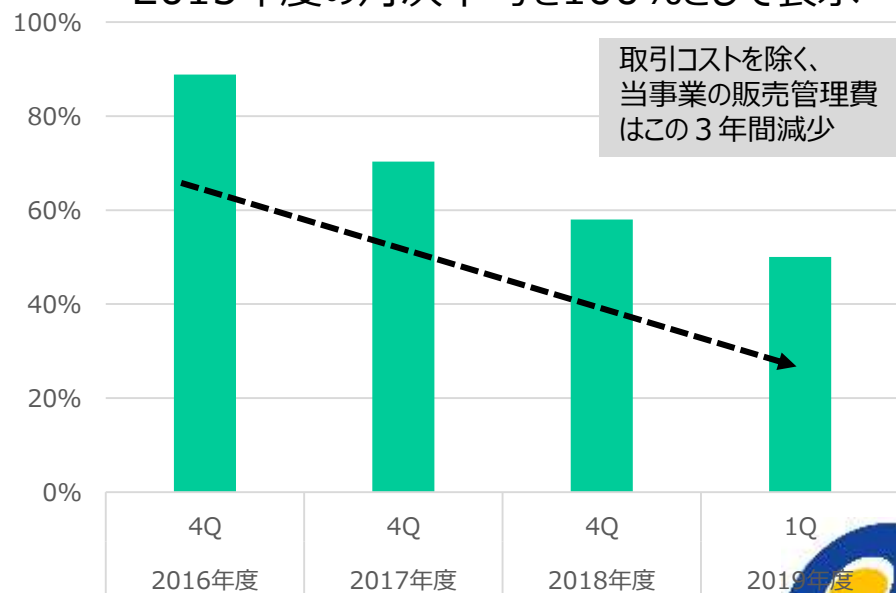
＜当事業経費率改善に向けた施策＞

管理部門の業務効率化による人的コスト削減
情報端末やオフィススペース等の見直し

(百万枚) 東京商品取引所年度別累計出来高



当事業の販売管理費の推移（除く取引コスト）
2015年度の月次平均を100%として表示



2-3. 事業紹介：

金融事業

アセット・ マネジメント事業

機関投資家・個人・年金に
対する金融商品取引業者
(投資運用業)

ディーリング事業

自己資産運用業

- ・金融商品等の運用スキル
- ・取引・リスク管理手法
- ・集団投資スキームノウハウ

創業時からのノウハウ
の蓄積

総合エネルギー事業

再生可能エネルギー 関連事業

2012年～
太陽光・地熱発電事業
・開発運営、保守管理
・ポートフォリオの入替を
通じたビジネス拡張

- ・集団投資スキームノウハウ
の活用
- ・法務関連経験値の蓄積
- ・リスク管理手法をエネル
ギー開発で活用

蓄積されたノウハウの活用

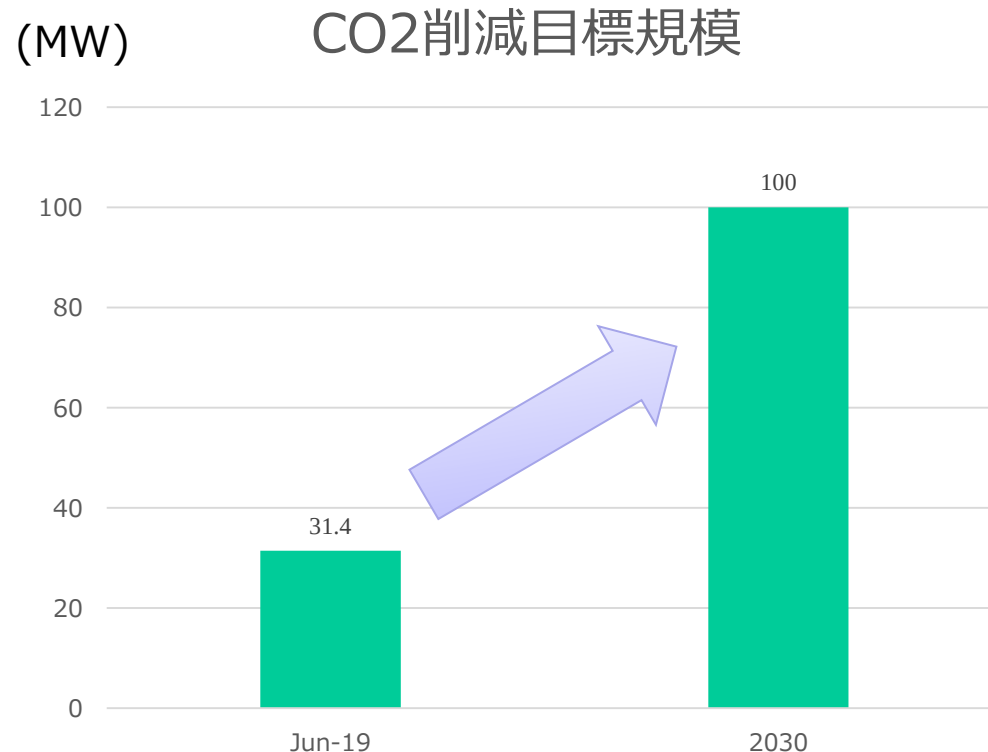
電力取引関連 事業

2016年～
小売電気事業者向け
・システム提供
・業務代行サービス
・電力取引

- ・小売電気事業者支援
- ・ファイナンス機能提供
- ・電力卸売市場の担い手
- ・リスク管理手法を電力
取引で活用

- ・包括的で持続可能な社会の構築のための開発目標（SDGs）の実現に貢献する
- ・国のエネルギー基本計画に基づき、
2030年までに最大年間66,000トン（太陽光発電100MW相当※）のCO2削減を目指す再生可能エネルギーの導入及び拡大に寄与する方針

※ 当社の発電事業のほか、当社がO&Mを請け負っている発電所も含む



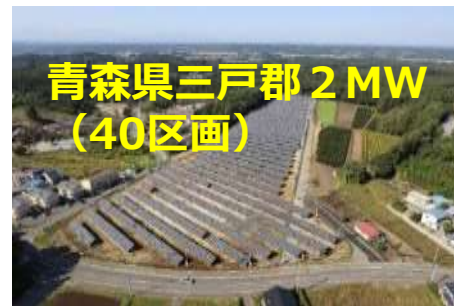
事業環境・当社の強み

FIT価格の低下、入札制度実施の流れの中、二次流通市場における事業発掘を推進

2012年の事業開始以降、蓄積してきたファイナンス、発電所設計・維持・管理等のノウハウや投資家とのパイプラインを基に太陽光発電100MW相当への拡大を目指す。

2-3.再生可能エネルギー関連事業：太陽光発電事業の実績

合計：31.4MW（稼動済：15箇所28.9MW 開発中:2箇所2.2MW）



2-3.再生可能エネルギー関連事業（太陽光発電所一覧）

第1Qに、⑮を新たに取得。

太陽光発電所一覧	所在地	FIT価格 (円)	発電容量 (MW)	所有 比率	買取期間	発電事業	不動産事業	O&M事業	ステータス
①八戸八太郎山ソーラーパーク	青森県	40円	5.2	25%	2034年1月	◎	◎	◎	2014年5月完成。一部売却済
②大田原ソーラーパーク	栃木県	36円	0.8	-	-	-	◎	◎	2014年8月完成。売却済
③遠野道の奥発電所	岩手県	40円	1.2	-	-	-	-	◎	2014年8月完成。売却済
④五戸ソーラーパーク	青森県	36円	2	-	-	-	◎	◎	2014年9月完成。売却済
⑤奈半利ソーラー発電所	高知県	36円	2.4	-	-	-	-	◎	2015年1月完成。売却済
⑥石岡ソーラーパーク	茨城県	36円	0.7	-	-	-	◎	◎	2015年3月完成。売却済
⑦あくとソーラーパーク	栃木県	40円	1.2	100%	2035年10月	◎	-	◎	2015年10月完成。
⑧くまもとんソーラープロジェクト	熊本県	40円	8.1	50.04%	2036年7月	◎	-	◎	2016年7月完成。一部外部持分
⑨大分県中津市太陽光発電所	大分県	36円	2.3	-	-	-	◎	◎	2018年12月完成。売却済
⑩鹿嶋市清水太陽光発電所	茨城県	32円	0.05	-	-	-	-	◎	
⑪神栖太田太陽光発電所	茨城県	32円	0.05	-	-	-	-	◎	
⑫メガ栃木・立出發電所	栃木県	32円	1.9	100%	-	◎	-	◎	2016年6月完成。
⑬永和西館太陽光発電所	岩手県	32円	0.9	100%	-	◎	◎	◎	2018年12月完成。
⑭石妻太陽光発電所	岡山県	24円	1.2	100%	-	◎	◎	◎	2019年3月完成。
⑮メガ埼玉・吉見発電所	埼玉県	32円	0.9	100%	-	◎	◎	◎	2016年3月完成

28.9

<建設中>

霧島福山太陽光発電所	鹿児島県	40円	2.2	100%	-	◎	-	◎	建設中：2019年10月以降完工予定
石岡ソーラーパークEast	茨城県	24円	0.3	100%	-	◎	◎	◎	建設中：2020年2月以降完工予定

2.5

※ ◎は当社グループが手掛ける事業

太陽光発電事業に加え、ベースロード電源となる地熱発電事業へ

2015年2月:2メガワット級の開発を前提に地表調査を実施

事業計画の概要

発電規模

1,990～4,990 kW（計画）

開発計画地

宮崎県えびの市尾八重野地域

事業主体

アストマックス・えびの地熱株式会社

現開発ステージ

2016年 調査井（1号井）掘削完了

2017年 調査井（2号井）掘削完了

2018年 調査井（3号井）掘削完了

2019年7月 調査井（4号井）掘削開始



3号井の自噴

2-4. 事業紹介：

金融事業

アセット・ マネジメント事業

機関投資家・個人・年金に
対する金融商品取引業者
(投資運用業)

ディーリング事業

自己資産運用業

- ・金融商品等の運用スキル
- ・取引・リスク管理手法
- ・集団投資スキームノウハウ

創業時からのノウハウ
の蓄積

総合エネルギー事業

再生可能エネルギー 関連事業

2012年～
太陽光・地熱発電事業
・開発運営、保守管理
・ポートフォリオの入替を
通じたビジネス拡張

- ・集団投資スキームノウハウ
の活用
- ・法務関連経験値の蓄積
- ・リスク管理手法をエネル
ギー開発で活用

蓄積されたノウハウの活用

電力取引関連 事業

2016年～
小売電気事業者向け
・システム提供
・業務代行サービス
・電力取引

- ・小売電気事業者支援
- ・ファイナンス機能提供
- ・電力卸売市場の担い手
- ・リスク管理手法を電力
取引で活用

2-4.電力取引関連事業：

ディーリング事業と再生可能エネルギー関連事業のノウハウを基に、
2016年4月の電力小売全面自由化を受け2015年11月よりスタート。

■ 事業内容

1. システム提供
2. 業務代行サービス
3. 電力取引

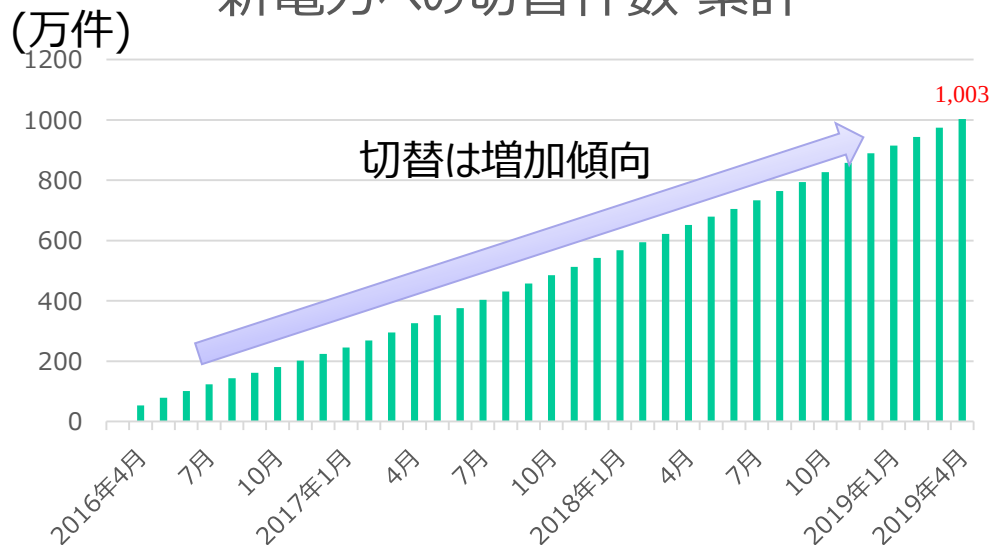


需要予測・バランシング・計画値提出

- 豊富な需要家プロフィールから信頼性の高い需要予測結果の提供
- ポートフォリオを最適化し、調達コスト抑制および事業リスク低減提案
- インバランス・リスク清算サービスによるリスク回避と事業コストの早期確定

2-4.電力取引関連事業：

新電力への切替件数 累計



出典：電力・ガス取引監視等委員会

新電力市場の動向

新電力への切替件数：

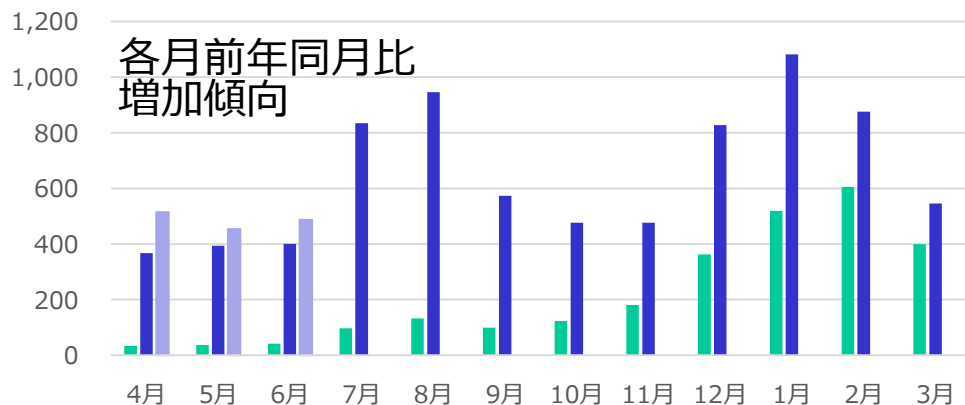
1,003万件（2019年4月末）
622万件（2018年3月末）

小売電力事業者：

596事業者（2019年7月26日）
464事業者（2018年3月末）

新電力への切替、小売電力事業者数の増加は、小売電気事業者支援業務提供の裾野を広げ、事業拡大につながる。

(百万円) 当事業の年度別電力販売実績



■ 2017年度 販売実績 ■ 2018年度 販売実績 ■ 2019年度 販売実績

2-5.新たな事業への挑戦：

①地方創生事業の進捗

分散型エネルギーを活用した持続可能な社会、自立型地方創生事業モデルを目指す

- 長万部産のホタテの貝殻とサンゴ砂礫のアルカリ培地で**ENRICHミトマト**を生産
 - 蓄電池を装備した太陽光発電をハウスと作業棟に活用
 - 長万部町内の温泉熱のハウス加温への活用検討中
-
- 片山さつき地方創生担当大臣が、長万部アグリ(株)の農場ご視察
 - 札幌駅前南口ビアガーデン『サツエキ★夏酒場』
開催期間中（6/17～8/25）
おすすめメニューのピザに**ENRICHミトマト**が採用される
 - 羽田空港第一ビルMarket Placeで開催中「北海道祭」
開催期間中（7/19～8/31）
ENRICHミトマト及び**ENRICHミトマトジュース**販売中

長さ100mのトマトハウス



「サツエキ★夏酒場」に並ぶ
ENRICHミトマトの箱とトマト



「ふるさと納税返礼品」セット



②ガス事業の進捗：

引き続き事業開始に向け候補会社と契約内容及び事業計画の確認中

アストマックスグループのご紹介

1. アストマックスグループについて
2. 事業紹介
3. 2020年に向けての中期ビジョン
Innovation & Governance for 2020
株主還元・IR方針
4. 決算状況

3-1.中期ビジョン（2016年策定）：

4年後の2020年に向けて当社グループの目指すべきこと

持続的な企業価値の向上
非連続の成長

今年度が最終年度

①強固な
財務基盤

キャッシュ創出力
自己資本の充実

②収益力
成長力

伸びしろのある
新たな事業へのチャレンジ

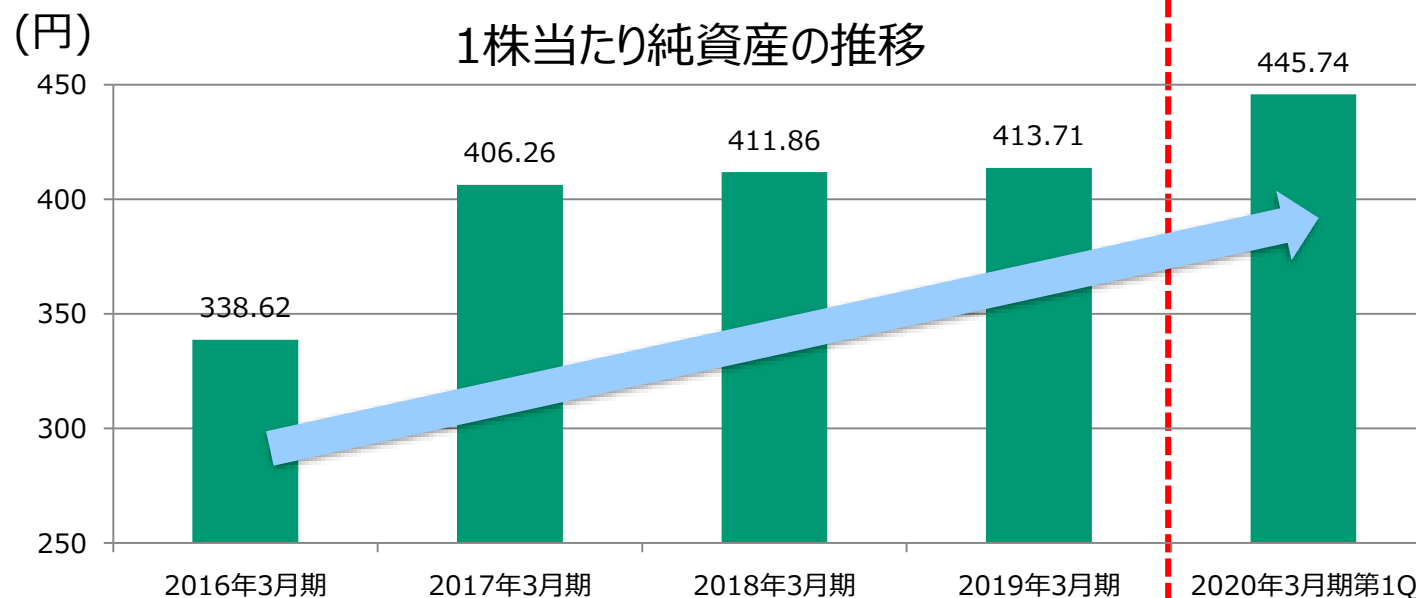
③人財育成力
組織力

人材育成のための環境整備
働く意識改革

価値観の共有と多様性

3-3 中期ビジョン最終年度（4年目）の途中経過

		1年目	2年目	3年目	4年目	4年目
目指すべき指標	【第4期】 2016年 3月期 (実績)	【第5期】 2017年 3月期 (実績)	【第6期】 2018年 3月期 (実績)	【第7期】 2019年 3月期 (実績)	【第8期】 2020年 3月期第1Q (ご参考)	【第8期】 2020年 3月期 (目標)
配当後 株主資本	44億円	53億円	54億円	54億円	58億円	60億円程度
連結 営業収益	30億円	35億円	61億円	111億円	17億円 1Qのみ 実績	45億円以上
連結ROE	3.6%	0.04%	3.0%	3.1%	-	8%以上



人財育成と開発に向けた8つの施策

重要な経営方針の一つ:持続的に企業価値を向上させるためには、「自走できる集団」となること。
そのために「人財の育成と開発」に全力で取り組むことを重要な経営方針の一つと位置づけました。

2019年3月期は①③⑥⑦⑧を実施しました。



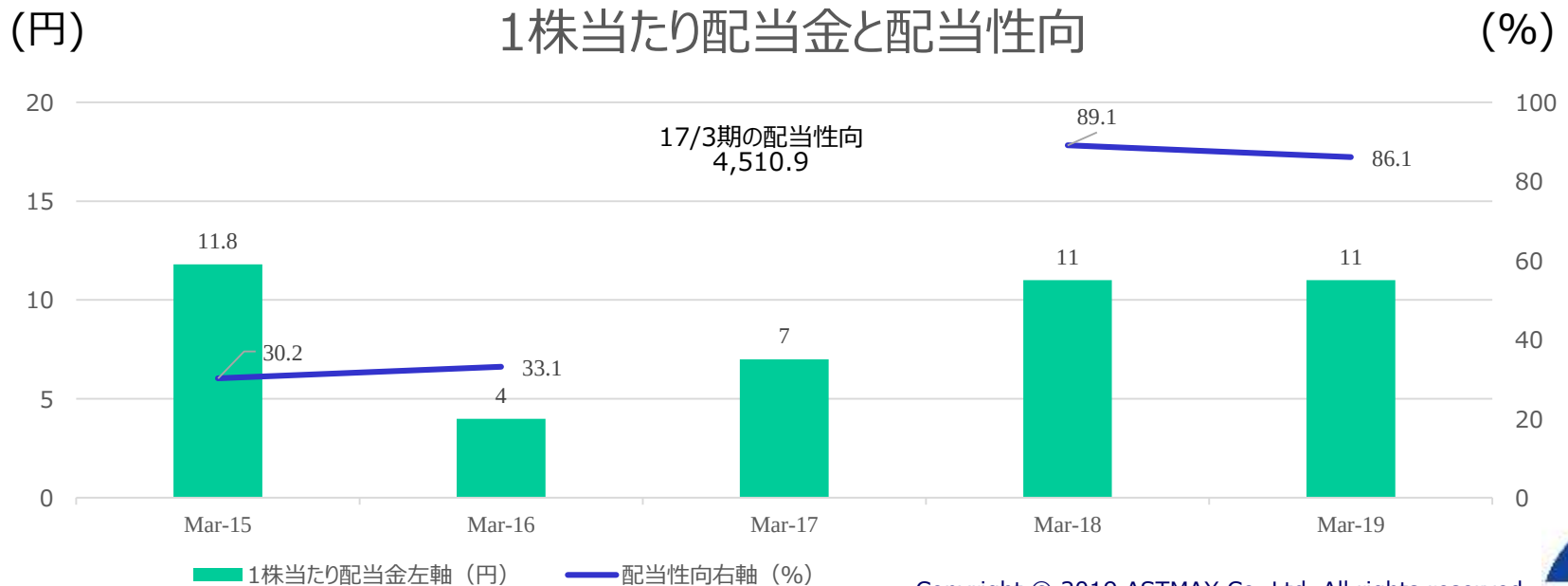
株主還元・IR年間方針（2020年3月期）

株主還元

- 配当性向30%を目途とする、期末配当年1回を基本方針
- 柔軟かつ機動的な自己株式の取得を実施する方針

IR方針

- 再生可能エネルギー関連事業保有発電所の発電状況の開示（月次）
- オンライン決算説明会（半期）
- アナリストレポートの作成（不定期）



アストマックスグループのご紹介

1. アストマックスグループについて
2. 事業紹介
3. 2020年に向けての中期ビジョン
Innovation & Governance for 2020
株主還元・IR方針
4. 決算状況



総括：

- ①ASTAM社株式をヤフーに一部（16.7%）譲渡：特別利益944百万円を計上
 今期よりASTAM社四半期純利益はアセット・マネジメント事業の営業外収益として認識
- ②本譲渡に関連し、租税公課等が増加する等、全社費用が増加
- ③セグメント利益：アセット・マネジメント事業3百万円、再生可能エネルギー関連事業37百万円
- ④セグメント損失：ディーリング事業△48百万円、電力取引関連事業△28百万円



1. 運用資産残高（2019年6月末）：

3,878億円（前年度末比△295億円）



2. Yjamシリーズの累計販売会社数（2019年6月末）：

28社（前年度末比+1社）



3. 電力取引の新規取引先契約実績

第1Q：6件（前年同期は8件）



4. 太陽光発電所数（2019年6月末）：

17箇所、合計31.4MW（前年度末比+0.9MW）

連結損益計算書：

2020年3月期第1四半期

単位：百万円	【第7期】 2019年 3月期第1Q	【第8期】 2020年 3月期第1Q	対前年 同期間比	対前年 同期間比 (%)	
営業収益	2,043	1,783	△259	△12.7	①ASTAM社の非連結化△469 ②ディーリング事業△103 ③再生可能エネルギー関連事業+4 ④電力取引の増加+284
営業費用	1,961	1,886	△74	△3.8	①ASTAM社の非連結化 ②電力取引の増加（+284） ③ガス事業の先行投資 ④ASTAM社株式の追加譲渡により租 税公課等が増加する等、全社費用が 増加
営業損益	82	△103	△185	-	
営業外収益	1	62	60	-	
営業外費用	17	44	26	-	
経常損益	66	△84	△151	-	①アセマネ事業のセグメント損益 （△55） ②ディーリング事業のセグメント損益 （△79） ③ASTAM社株式の追加譲渡により租 税公課等が増加する等、全社費用が 増加
特別利益	-	945	945	-	
特別損失	0	-	0	-	
法人税等合計	25	285	259	1,021.7	
非支配持分	27	9	△18	△65.7	ASTAM社株式の一部を追加譲渡 （+944）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	566	553	4,210.8	ASTAM社の非連結化

連結貸借対照表：

2020年3月期第1四半期

単位：百万円	【第7期】 2019年 3月期	【第8期】 2020年 3月期第1Q	対 前年度末比	対 前年度末比 (%)
流動資産	6,641	6,919	277	4.2
固定資産等	6,525	6,589	63	1.0
資産合計	13,167	13,508	341	2.6
流動負債	3,239	3,418	179	5.5
固定負債	3,934	3,928	△6	△0.2
負債合計	7,173	7,347	173	2.4
株主資本	5,442	5,864	421	7.8
純資産	5,993	6,161	168	2.8
総資産	13,167	13,508	341	2.6

ASTAM社株式の一部譲渡により
現金及び預金が+521百万円

短期借入金 +771百万円

利益剰余金 +421百万円

単位：百万円		【第5期】 2017年 3月期	【第6期】 2018年 3月期	【第7期】 2019年 3月期	【第8期】 2020年 3月期第1Q	増減
主要 BS 項目	総資産	12,117	12,077	13,167	13,508	341
	純資産	5,987	5,942	5,993	6,161	168
	自己資本	5,346	5,420	5,444	5,866	421
	純有利子負債	901	371	1,147	1,389	241
	現預金	3,685	3,443	3,143	3,664	521
	有利子負債	4,586	3,814	4,291	5,053	762
	EBITDA	466	417	460	0	1Qのみ 実績
財務 健全 性 指標	自己資本比率（%）	44.1%	44.9%	41.3%	43.4%	2.1%
	純資産比率（%）	49.4%	49.2%	45.5%	45.6%	0.1%
	Net D/Eレシオ	0.2	0.1	0.2	0.2	0.0
	Net Debt/ EBITDA	1.9	0.9	2.5	-	-

セグメント別業績：

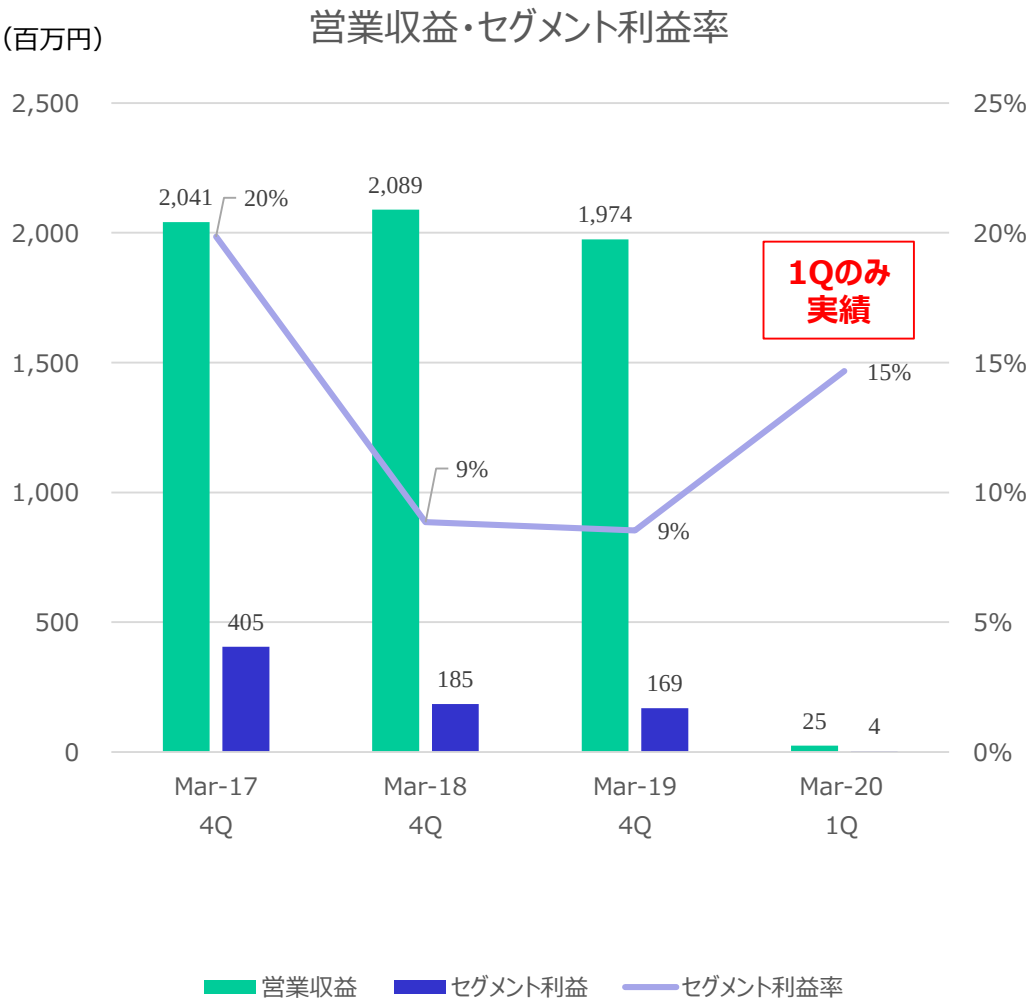
2020年3月期第1四半期

単位：百万円		【第7期】 2019年 3月期第1Q	【第8期】 2020年 3月期第1Q	対前年 同期間比	対前年 同期間比（%）
アセット・マネジメント事業	営業収益	494	24	△469	△94.9
	セグメント損益	59	3	△55	△93.8
ディーリング事業	営業収益	149	45	△103	△69.3
	セグメント損益	30	△48	△79	-
再生可能エネルギー 関連事業	営業収益	163	168	4	3.0
	セグメント損益	17	37	19	110.4
電力取引関連事業	営業収益	1,230	1,514	284	23.1
	セグメント損益	△37	△28	9	-
その他（※1）	営業収益	9	33	24	268.1
	セグメント損益	△2	△7	△5	-
調整額（※2）	営業収益	△3	△3	△0	-
	セグメント損益	△1	△41	△39	-
四半期連結財務諸表 計上額	営業収益	2,043	1,783	△259	△12.7
	セグメント損益	66	△84	△151	-

※1「その他」は、地方創生事業など、現時点で事業セグメント化されていない事業を示す。

※2「調整額」のマイナスの増加は、ASTAM社株式の一部譲渡に関連し租税公課等が増加する等、全社費用が増加

アセット・マネジメント事業



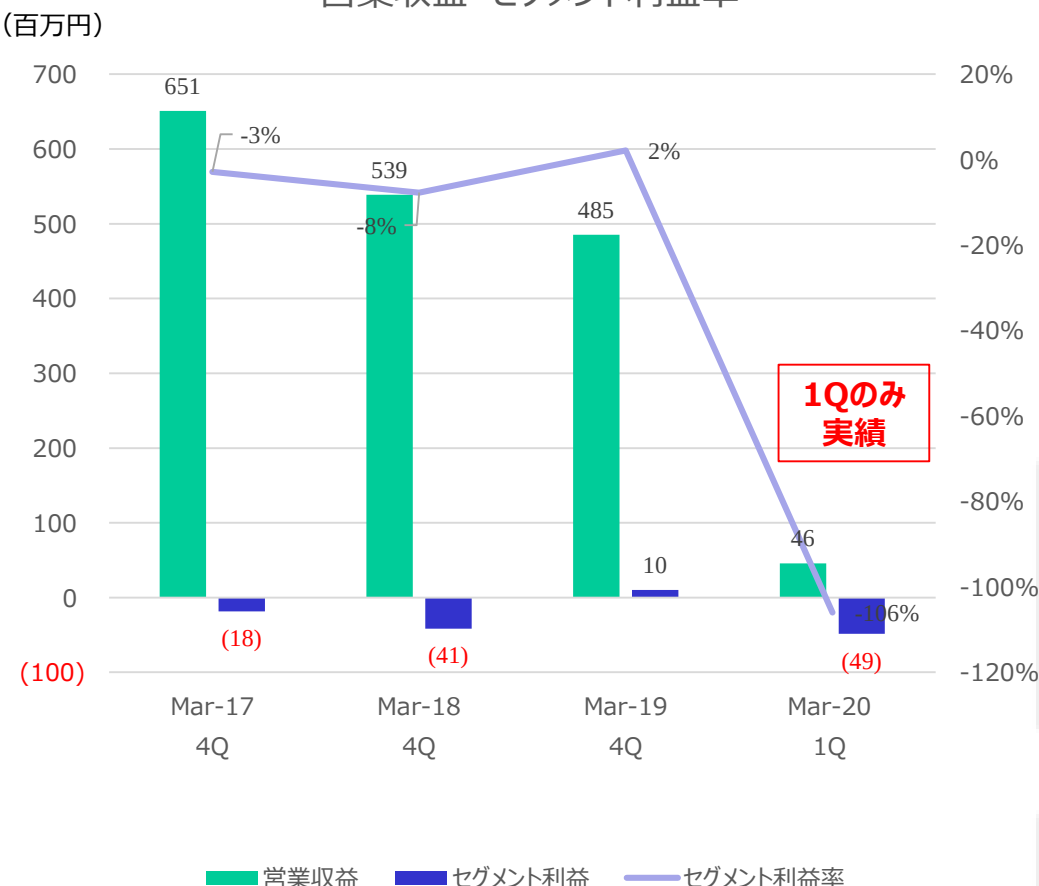
単位：百万円	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	増減
営業収益	494	24	△469
セグメント損益	59	3	△55
運用資産残高 (億円)	3,955	3,878	△77

1Qレビュー

- ・今期よりASTAM社非連結化
- ・前年度までは連結子会社としてASTAM社の営業収益と営業費用等全て取り込み、経常利益（100%）をセグメント利益に反映
- ・今期よりASTAM社の税引き後当期純利益の当社持分（49.9%）のみを取り込む事に
⇒セグメント利益が大幅に減少した主な要因
- ・一方、運用資産残高や報酬率が前年同期間比減少しており、双方を回復することが課題

ディーリング事業

営業収益・セグメント利益率



単位：百万円	2019/3 1Q	2020/3 1Q	増減
営業収益	149	45	△103
セグメント損益	30	△48	△79
東京商品取引所 総取引高（万枚）	53	35	△17
日次平均出来高 （万枚）	9.5	7.9	△1.5
当社取引シェア（%）	4.2	2.9	△1.2

出典：東京商品取引所

1Qレビュー

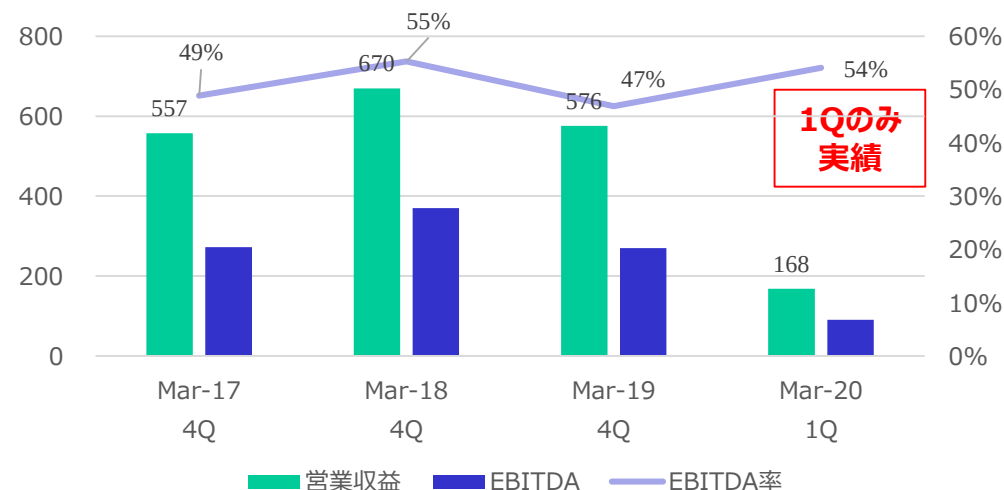
- ・取引所取組高・出来高:前年同期比大幅減
- ・貴金属の一部裁定取引において損失発生、エネルギー取引では収益確保
- ・営業収益・セグメント損益:前年同期比大幅減

市場機会・収益力強化への取組

- ・本邦先物取引所の再編は、市場参加者増加と流動性向上に寄与
- ・前年度海外投資家に解放された中国先物市場への参入

再生可能エネルギー関連事業

(百万円) 営業収益・EBITDA・EBITDA% (年次)

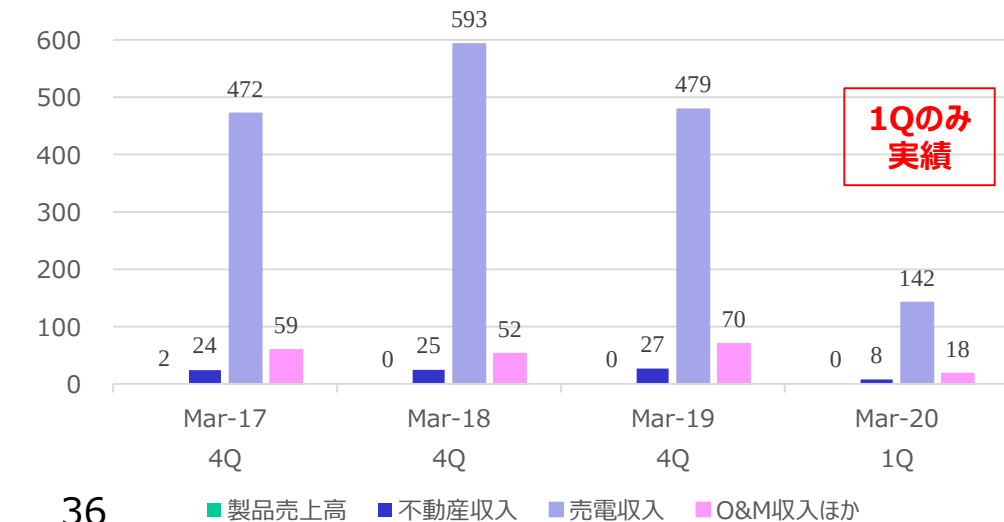


単位：百万円	2019/3 1 Q	2020/3 1 Q	増減
営業収益	163	168	4
営業費用	133	138	4
内、減価償却費	59	61	1
セグメント損益	17	37	19
EBITDA	89	90	1

1Qレビュー

4～5月の九州電力による出力抑制の発令は、太陽光発電設備の増設効果が打ち消し、結果、セグメント利益は増加

(百万円) 営業収益内訳



営業収益の内訳

- ① 売電収入
- ② O&M収入 (発電所の維持管理)
- ③ 不動産収入 (発電所用地の賃貸)

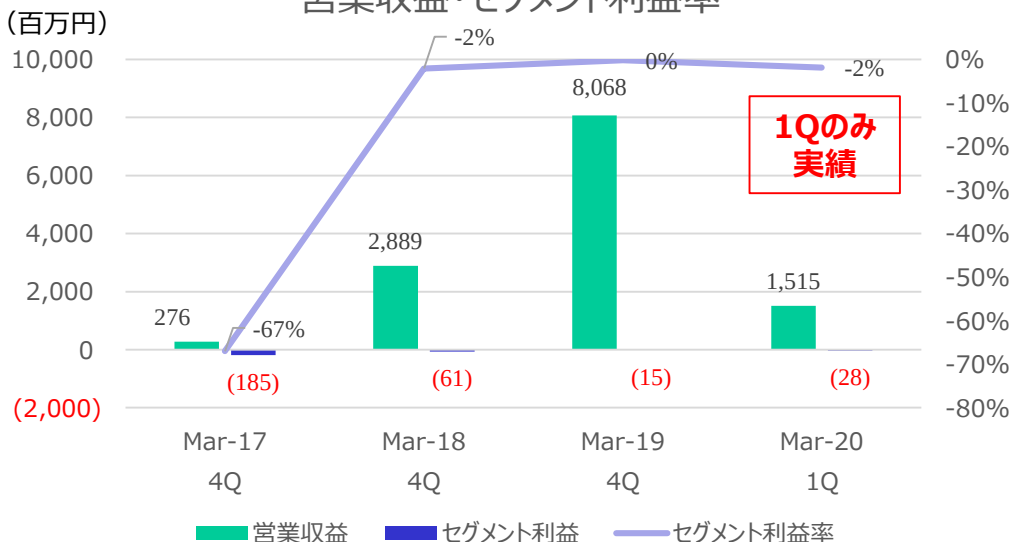
1 Qの動き

- ① 出力抑制が発令されたが、前年並みを維持
- ② ③ 管理する発電所が前年同期比増加

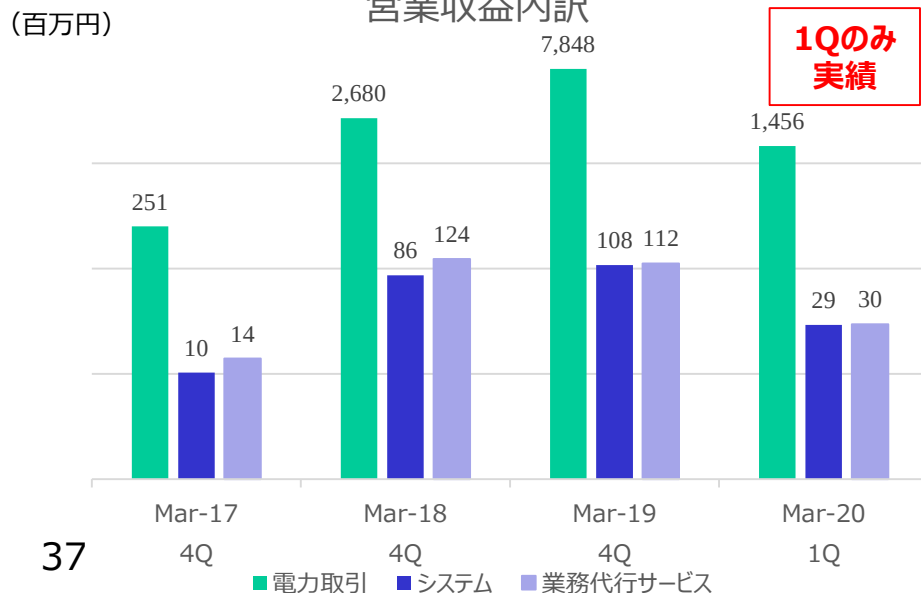
上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常利益又は経常損失と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常利益とは合致しません。

電力取引関連事業

営業収益・セグメント利益率



営業収益内訳



単位：百万円

	2019/3 1Q	2020/3 1Q	増減
営業収益	1,230	1,514	284
営業費用	1,268	1,555	287
セグメント損益	△37	△28	9
新電力への切替 件数 (万件)	705	1,003※	297

※2019年4月末現在

1Qレビュー

- ・電力卸売取引は前年同期間比増加
- ・天候不順により、電力消費量は想定より伸び悩み、取引も拡大せず。
- ・ガス事業の先行コストを負担

営業収益の内訳

- ①電力卸売取引
- ②業務代行サービス (手数料収入)
- ③システム販売 (手数料収入)

1Qの動き

- ①6件の新規取引先契約実績
- ②2件の新規契約を獲得

上記、セグメント利益又は損失は連結財務諸表の経常利益又は経常損失と調整を行っており、連結会社間の内部取引消去等の調整額が含まれているため、合計金額と連結営業収益及び連結経常利益とは合致しません。

当社グループ概要

純資産：6,074百万円
グループ役職員：61名

アストマックス株式会社
設立：2012年10月 資本金：2,013百万円
東証JASDAQ 7162

82.3%（持株比率）

長万部アグリ株式会社

再生可能エネルギー関連事業
ディーリング事業
電力取引関連事業

100%（持株比率）

アストマックス・トレーディング株式会社
設立：1992年9月
資本金：1,000百万円

100%（持株比率）

アストマックス・エナジー・サービス株式会社

アストマックスえびの地熱株式会社

匿名組合出資

株式会社八戸八太郎山ソーラーパークSouth

合同会社あくとソーラーパーク

くまもとんソーラープロジェクト株式会社

合同会社霧島福山太陽光発電所

LPS出資 九州再生可能エネルギー投資事業有限責任組合

20%（持株比率）

DAX（匿名組合）

アセット・マネジメント事業

第二種金融商品取引業
投資運用業、投資助言・代理業等

49.9%（持株比率）

持分法適用会社

アストマックス投信投資顧問株式会社
設立：2004年5月
資本金：95百万円

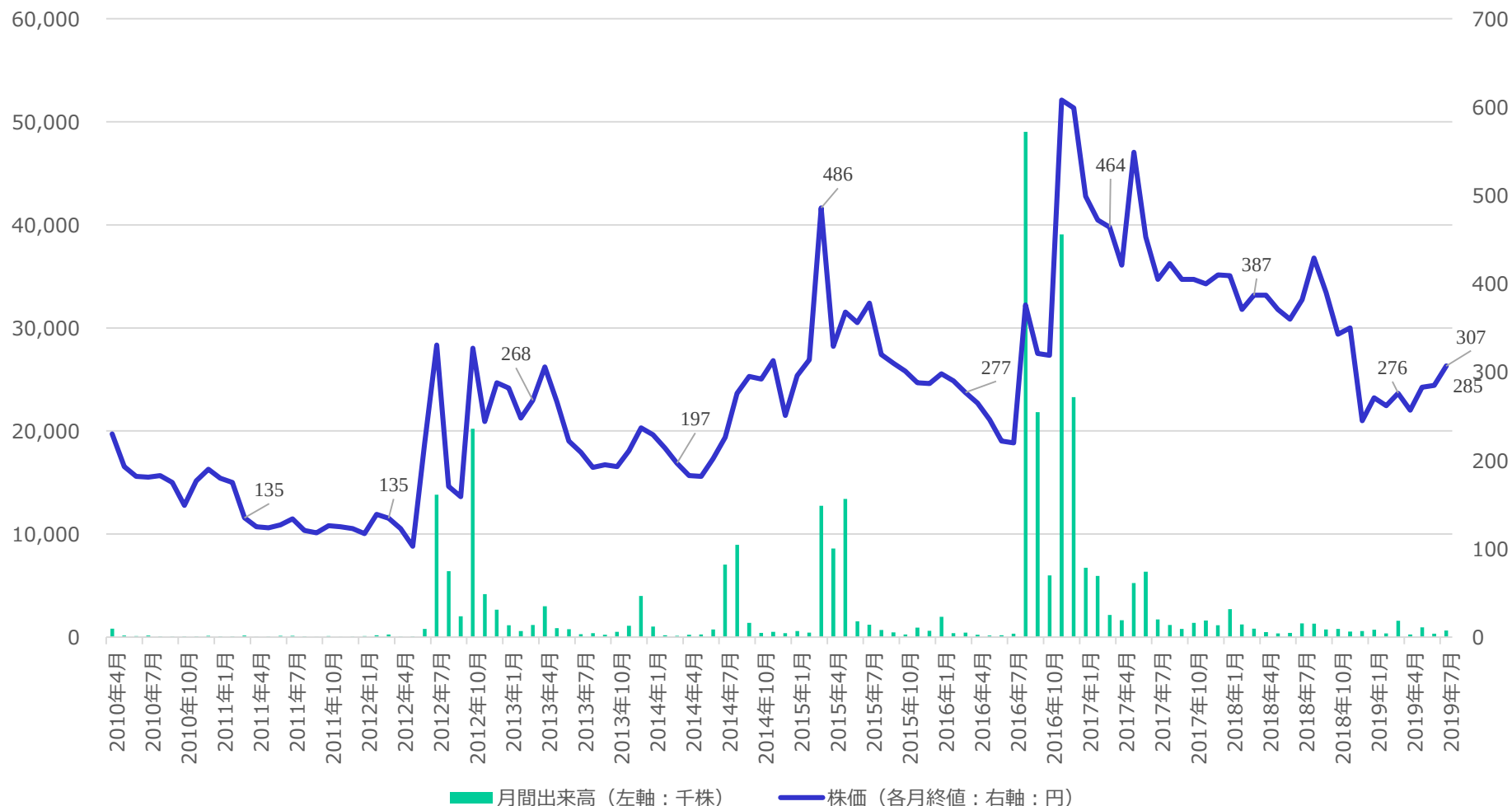
間接保有

アストマックス・
ファンド・マネジメント株式会社

2019年6月末現在

株価推移

株価の推移



(※) 当社は2012年10月1日付で株式移転により設立し、旧アストマックス株式会社株式1株に対し当社株を100株を割り当て交付し、単元株数を100株に変更した為2012年3月期以前の株価及び出来高は現在の基準に調整しております。

アストマックス株式会社

ご清聴ありがとうございました。

本日配布した資料に記載されております将来に関する記載につきましては、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、確約や保証を与えるものではなく、不確実性が含まれておりますので、予めご了承ください。